

このニュースは都レンジャーの活動や、自然の情報などを皆様へお伝えするものです。

生態系に影響を与えるおそれがある動植物を持ち込まないようにしましょう

自然公園区域内など、その地域にもともと生息・生育していない動植物を放置することはやめましょう。また、自宅を出る前や登山道入り口で靴や衣類についた泥や種子などを取り除きましょう。

ペット由来の外来種

アライグマ

外来生物法によって特定外来生物に指定されているアライグマ。もともとペットとして飼育されていたのが逃げ出したり、捨てられたりして日本各地で野生化しています。



高尾山周辺で設置しているセンサーカメラ調査でも最近では度々撮影され、在来の中型哺乳類タヌキなどとの競合や、水辺の生き物、カエルやサンショウウオなどの捕食が懸念されています。

10年ぐらい前には、ごく稀にしか生息情報が確認されなかった動物ですが、最近は自然公園の中でも痕跡や生息情報が増えており、今後の動向を注視しています。

野ネコ

自然の中で野生化したイエネコのことです。こちらも、もともとはペットだった動物です。

野生化すると、希少な生き物を食べたり、繁殖に影響したりと、特に小笠原諸島などの島嶼部で深刻な影響が危惧されています。多摩地域の自然公園でも、山で暮らすネコが見られる箇所もあります。

ペットは、責任を持って適正に飼育しましょう。



ハクビシン



捨てウサギ



ガビチョウ

お気に入りの花を植えたい！ ・・・ちょっと待って



好きな山や景色の中にお気に入りの花を咲かせたいという気持ちがあふれ、山頂や休憩舎付近に持ち込んだのかな～？と思われる花や樹木の

植栽を目にします。その場所に生きている動植物に影響を与えてしまうことが無いように、本来の自然を楽しみましょう。